

2012 年度夏季の電力需給見通しに関する経済産業省への報告内容（概要）

1 2012 年度夏季の電力需給バランス（発電端）

(1) 最大電力（最大 3 日平均電力）

2012 年度夏季の最大電力は、2011 年度夏季実績 2,502 万 kW から 65 万 kW 増加し、2,567 万 kW と想定しています。これは、2011 年度夏季が台風や前線の影響等により天候不順であったことや、2012 年度夏季は景気が緩やかに回復する見通しであることに加えて、お客さまの節電意識が定着していることを踏まえ想定したものです。

この節電影響については、無理のない範囲での節電をお願いした 2011 年度秋・冬季の実績（両時季とも節電率 2.3%）を踏まえ、60 万 kW（節電率 2.3%）を見込んでいます。

なお、特段の節電にご協力いただいた 2011 年度夏季は、100 万 kW（節電率 4%程度）の需要抑制があったものと推定しております（2011 年 10 月 4 日公表済み）。

2012 年度夏季 (計画値)	2011 年度夏季 (実績)	差	差の内訳			
			節電影響※2 (▲100万kW→▲60万kW)	計画調整契約等※2 (▲20万kW→▲37万kW)	景気影響等 +30万kW	気象影響 +12万kW
2,567 万 kW※1	2,502 万 kW	+65 万 kW	+40 万 kW	▲17 万 kW	+30 万 kW	+12 万 kW

※1 仮に 2010 年猛暑並み（節電織込）の場合、1 点最大電力は 2,648 万 kW となる見込み。

※2 経済産業省へは、節電影響と計画調整契約等を加えた値を報告しております（別紙 2 を参照）。

<参考：2011 年度冬季の節電影響>

2011 年度冬季は、無理のない範囲での節電にご協力いただいた結果、50 万 kW の最大電力の減少があったと推定しております。2010 年度との冬季最大 3 日平均電力の実績比較では下表の通りとなります。

冬季最大 3 日平均電力		差	差の内訳		
2012 年 2 月	2011 年 1 月		節電影響	自家用発電設備の 発電量増加	気象影響等
2,329 万 kW	2,327 万 kW	2 万 kW	▲50 万 kW	▲13 万 kW	+65 万 kW

(2) 供給力

2012 年度夏季の供給力は、7 月に上越火力発電所 1-1 号（出力：59.5 万 kW）の営業運転を開始することに加えて、火力機の定期点検時期を調整する等、供給力の確保に最大限取り組むことにより、2,811 万 kW（本年 8 月）まで供給力を積み増ししました。

加えて、法定期限を超えた時期に定期点検を実施することについて承認をいただける前提で、夏季の高需要期（2012 年 8 月）に予定していた火力機の定期点検を全て繰り延べて、2,875 万 kW（2012 年 8 月）まで供給力を積み増ししました。その上で、需給ひっ迫が見込まれる他電力会社の要請を受けて、ピーク時間帯（平日 13 時～16 時）において 100 万 kW の電力融通を実施することで、全国的な需給安定にも協力する予定です。

この結果、2012 年度夏季の当社供給エリアへの供給力は、8 月において 2,775 万 kW となりました。この水準は、供給予備率でみると安定供給の目安である 8%程度に相当するものです。

(3) 月別電力需給バランス

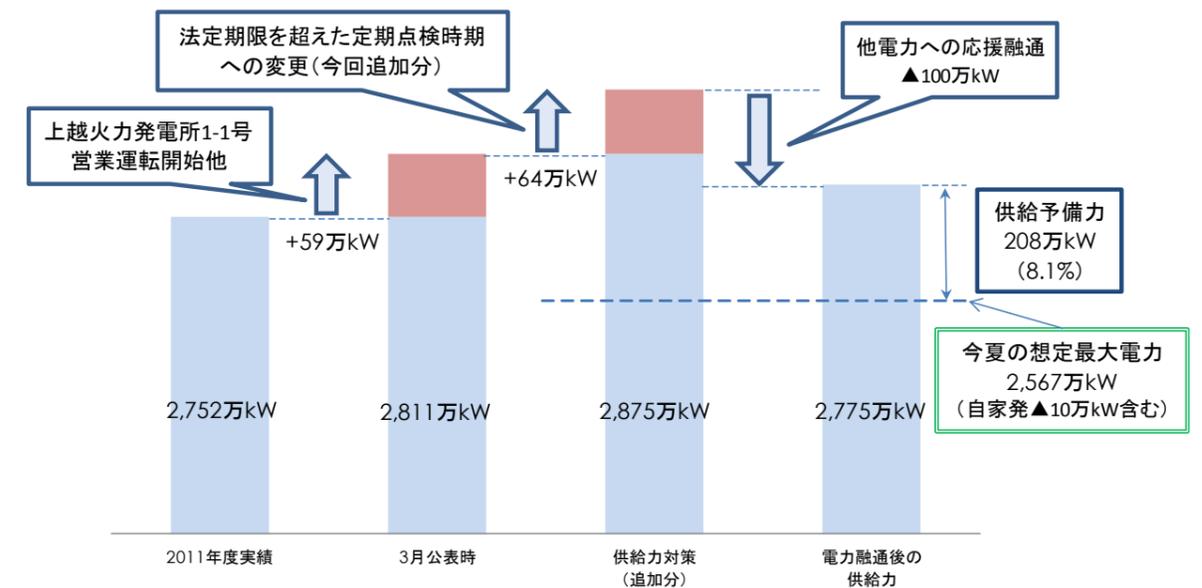
【単位：万 kW】

	7 月	8 月
最大電力 (A)	2,567	2,567
供給力 (B)	2,778	2,775
供給予備力 (B-A)	211	208
供給予備率 (%)	8.2%	8.1%

※本資料の数値は、以下の理由から、経済産業省へ報告した需給バランスの数値と異なります。

- ・最大電力：供給計画の届出と同様の最大 3 日平均電力としています（報告資料は、1 点最大電力）。
- ・供給力：火力機の増出力分（10 万 kW）は緊急時の対応であるため、計画には織り込んでおりません。
→供給予備力および供給予備率は、最大電力および供給力の数値に基づいて算定しております。

<参考：8 月の供給力の推移>



2 供給力対策

対策	内容	上積み供給力
火力機の定期点検時期の変更等	追加分 ○法定期限を超えた定期点検の実施（秋季以降への繰り延べ） ・川越火力発電所 3-3 号機 ・知多火力発電所 1 号機	64 万 kW
	織り込み済 ○武豊火力発電所 2 号機など長期計画停止火力機の運転継続 ○軽負荷期（春季）への定期点検時期の前倒し（4 ユニット） ○定期点検期間の可能な限りの短縮（4 ユニット）	—
発電所および送変電設備等の重点的な点検	発電所および送変電設備等において、安定供給に向けた夏季前の重点的な点検を確実に実施	—

3 需要面に関する取り組み（計画調整契約）

	内容
夏季休日契約等への新規加入等のお願い	夏季休日契約（休業日を休日から平日へシフトいただく契約）等による調整力拡大に向けて、2011 年度契約値 36 万 kW（自動車関連企業除き）から、4 万 kW 上積みし、40 万 kW を目標に、大規模な工場等のお客さまに対して、新規加入等をお願いしております。
自家用発電設備の発電量増加のお願い	自家用発電設備の発電量増加による調整電力（受電電力の減）の拡大に向けて、2011 年度合計契約値 8 万 kW から、2 万 kW 上積みし、10 万 kW を目標に、今後、自家発電を保有されているお客さまへお願いしてまいります。

今後、国において、2012 年度夏季における全国の電力需給見通しに関して検討が行われます。当社の見通しは、国の検討が完了した後に、速やかにお知らせいたします。

以上